

マット運動 - 技をきれいにできるコツを見付けよう - B

実践概要

自分ができるようになりたい技に対して、フローチャート形式で技の要素を分解して考えることでできることとできないことを理解し、自分が取り組む練習の場や方法を考える。

使用教材（製品名）・ICT環境（OS名等）

マット
ホワイトボード
学習カード

単元計画（全6時間）

	○主な学習活動	●指導上の留意点・◇評価内容等
一 次	○回転系、倒立系のグループ別に技調べを行い、できるようになりたい技を選ぶ。	●技調べを通して、自分ができる技とできない技を把握し、自分ができるようになりたい技を自分で選ぶ。 ◇自己の能力に適した技を選ぶことができる。
二 次	○フローチャートを基に技のポイントを細分化し、自分の練習する場や方法を選んで練習する。	◇自分に取り組む技ができるようになるためには、どんなポイントがあるのかをフローチャートを見て理解する。 ●児童が見合う際には、チャート上の選択が合っているか、そのポイントができていようかどうか限定して着目し、アドバイスをする。 ◇取り組む技のポイントを理解し、自分の練習する場を選んでいる。
三 次	○友達同士で、できるようになった技を発表し合う。	◇回転系や倒立系の基本技や発展技ができる。

ここに注目！（本事例のポイント）



「フローチャート」

一つの技の動作を分解して提示することで、自分に取り組む練習を選択しやすくなった。



「教え合い」

見るポイントを制限したことで、伝え合う内容が限定されるようにした。